

6月6日（金）

開会の挨拶

9：40～9：50（第1会場）

当番世話人：横山 良仁（弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座）

教育セミナーⅠ：婦人科腫瘍の未来を拓く：臨床試験の最前線 **P** **OD**

10：00～11：00（第1会場）

座長：松本 光史（兵庫県立がんセンター 腫瘍内科）

婦人科腫瘍における免疫療法の臨床試験動向

国立がん研究センター東病院 先端医療科/腫瘍内科 原野 謙一

婦人科腫瘍の未来を拓く：臨床試験のグローバル動向と抗体薬物療法の最前線

東京大学慈恵会医科大学 産婦人科学講座 西川 忠暁

スポンサードセミナーⅠ **P** 11：10～12：10（第1会場）

座長：加藤 聖子（九州大学大学院医学系研究院 生殖病態生理学分野）

子宮体癌治療の過去、現在、未来、それとともに考えていくべき様々な視点

聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 久慈 志保

共催：MSD株式会社

ランチョンセミナーⅠ：子宮頸がん治療

一手術から薬物療法まで **P**

12：20～13：20（第1会場）

座長：徳永 英樹（東北医科薬科大学 産婦人科）

定型化とその先へ ～子宮頸がんに対するMIS～

札幌医科大学 産婦人科学講座 松浦 基樹

再発子宮頸癌の二次治療を考える -免疫療法の役割-

大阪医科薬科大学 産婦人科学 藤原 聡枝

共催：リジェネロン・ジャパン株式会社

ランチョンセミナーⅡ **P** 12：20～13：20（第2会場）

座長：永瀬 智（山形大学 産科婦人科学講座）

進行再発子宮体がん薬物療法の新展開

近畿大学 産婦人科学教室 松村 謙臣

共催：アストラゼネカ株式会社

シンポジウムⅠ：臨床試験を立ち上げる：

CQの立案から実現までの実践ガイド

PART 1 CQの提案とプロトコルコンセプトの立案

P **OD**

13：30～15：00（第1会場）

座長：岩瀬 春子（都立墨東病院 産婦人科）
平澤 猛（東海大学医学部附属病院 専門診療学系産婦人科）

実臨床からのCQ提案：理論と実践

久留米大学 産婦人科学講座 産科婦人科学教室 西尾 真

臨床試験を立ち上げる：CQの立案から実現までの実践ガイド Part 1

CQの提案とプロトコルコンセプトの立案

東北大学大学院 医学系研究科 医学統計学分野 山口 拓洋

基礎研究から臨床への橋渡し：臨床試験の土台を築く

慶應義塾大学 産婦人科学教室 千代田達幸

シンポジウムⅢ：子宮体癌における妊孕性温存療法の最前線と未来展望

P **OD**

13：30～15：00（第2会場）

座長：山上 亘（慶應義塾大学 産婦人科学教室）
進 伸幸（国際医療福祉大学成田病院 産婦人科）

メトホルミン併用の妊孕性温存療法の開発（FERICIA trial）と今後の展望

獨協医科大学 産科婦人科 三橋 暁

REMPA trial（JGOG2051試験）の進展

慶應義塾大学 産婦人科学教室 坂井 健良

分子遺伝学的分類による妊孕性温存適応の再考

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 産科婦人科学 原賀 順子

子宮体癌患者が生児獲得を目指す、妊孕性温存療法の安全性について

一がん・生殖医療の視点から

聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 鈴木 直

シンポジウムⅡ：臨床試験を立ち上げる： CQの立案から実現までの実践ガイド Part2 試験を実際に走らせる **P** **OD**

15：10～16：40（第1会場）

座長：島田 宗昭（東北大学 高等研究機構 未来型医療創成センター）
武隈 宗孝（静岡がんセンター）

AMEDにおける研究開発支援

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED） 研究開発統括推進室
研究開発企画課 社会共創推進グループ 浅野 武夫

試験運営の現場：データ管理と資金調達

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター
医療開発研究グループ 中川 聡史

JGOG3020「ステージング手術をした卵巣がんⅠ期へ補助化学療法は必要？」

国立がん研究センター東病院 婦人科 田部 宏

シンポジウムⅣ：製薬会社の創薬研究から実用化までの取り組み

15：10～16：40（第2会場）

座長：織田 克利（東京大学 医学系研究科 統合ゲノム学）
吉原 弘祐（新潟大学 産婦人科学教室）

製薬会社における研究開発の現状と未来の展望

MSD株式会社グローバル研究開発本部オンコロジークリニカルディベロップメント
アソシエイトプリンシパルサイエンティスト 東 恭一

アストラゼネカにおけるがん治療戦略と新薬開発の取り組み

アストラゼネカ株式会社 研究開発本部 目良 清美

婦人科癌に適用可能な次世代T細胞エンゲージャーの創製

中外製薬株式会社 研究本部バイオ医薬研究部兼トランスレーショナルリサーチ本部
プロジェクト推進部 櫻井 実香

エーザイにおける婦人科がんの開発パイプライン紹介

エーザイ株式会社 鈴木 拓也

ドラッグラグ/ロスの解消 のためにできること～外資系企業の立場から～

グラクソ・スミスクライン株式会社 メディカル本部オンコロジー部門 駒田 俊裕

スポンサードセミナー2：臨床・統計の視点から見た卵巣がん薬物療法の エビデンス **P**

16：50～17：50（第1会場）

座長：鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）

四国がんセンター 婦人科 竹原 和宏
京都大学大学院医学研究科 医学統計生物情報学 森田 智視
共催：武田薬品工業株式会社

スポンサードセミナー3 P 18:00～19:00（第1会場）

座長：小林 佑介（筑波大学医学医療系 産科婦人科学）

進行卵巣がん初回治療戦略を再考する

岩手医科大学 産婦人科学講座 庄子 忠宏
共催：アストラゼネカ株式会社 / MSD 株式会社

6月7日（土）

教育セミナーⅡ：婦人科がん治療の未来を創る：

FIGO2023分類と重粒子線治療の臨床革新 **P** **OD**

8：40～9：40（第1会場）

座長：竹原 和宏（四国がんセンター 婦人科）

病理診断におけるFIGO 2023の現実味

岐阜赤十字病院 病理診断科 /
埼玉医科大学国際医療センター病院 病理診断科 安田 政実

婦人科領域の重粒子線治療

山形大学 放射線医学講座 放射線腫瘍学分野 赤松妃呂子

スポンサードセミナー4 **P** 9：50～10：50（第1会場）

座長：京 哲（島根大学 産科婦人科学）

これからの子宮頸がん治療～限らない進歩へ：婦人科腫瘍医の役割とは～

岩手医科大学 産婦人科学講座 馬場 長
共催：MSD株式会社

スポンサードセミナー5 **P** 11：00～12：00（第1会場）

座長：吉野 潔（産業医科大学 産科婦人科学）

子宮体がんに対する薬物療法2025 ～芒種の候、実臨床における論点と動向と～

愛知県がんセンター 婦人科部長 鈴木 史朗
共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー3 **P** 12：10～13：10（第1会場）

座長：馬場 長（岩手医科大学 産婦人科学講座）

これからの子宮頸がん治療戦略を考える

新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科学分野 吉原 弘祐
共催：中外製薬株式会社

インターグループセッション：Back to the future

～時代を跨ぐ臨床試験グループの軌跡と今後～

13：20～14：40（第1会場）

座長：佐藤 慎也（SGSG事務局 鳥取大学産婦人科）

「共創」～岩手から生まれた ovarian cancer conference、防潮堤
が聳えても、仲間で協調して乗り越える、多施設臨床研究～

聖マリア病院 産婦人科 杉山 徹

Intergroupの現状

KCOG 婦人科分科会代表 東京女子医科大学産婦人科 本橋 卓

GOTIC って？ ～これまで、今、そしてこれから～

GOTIC 埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科 藪野 彰

Future direction ～日本の将来へ向けての Intergroup～

TGCU 幹事長 岩手医科大学産婦人科 利部 正裕

閉会の挨拶

14：50～15：00（第1会場）

横山 良仁（第22回日本婦人科がん会議 当番世話人）

吉野 潔（第23回日本婦人科がん会議 当番世話人）

3. Web視聴期間（後日オンデマンド配信）

6月13日（金）12：00～6月27日（金）12：00

日本専門医機構単位付与対象期間：6月13日（金）12：00 ～6月20日（金）12：00

本会の開催形態は現地開催＋後日オンデマンド配信です。ライブ配信はおこないません。

現地でしか聴講できないセッションがあります。後日オンデマンド配信対象セッションは、日程表をご覧ください。

4. 各種研修証明について

●現地参加、Web参加（日本専門医機構単位付与対象期間）、いずれにおいても、学会参加証明書、日本専門医機構学術集会参加単位が取得できます。

※単位取得には、オンライン参加登録時に日本産科婦人科学会の会員番号入力が必要となりますのでご注意ください。

※学会参加証明書は、現地参加の方には、現地にて受付の際お渡しいたします。Web参加の方は、オンデマンド視聴ページよりご取得ください。

●日本産婦人科医会研修出席証明（研修単位）

希望の方は、オンライン参加登録時に必要情報を入力してください。

5. 日本専門医機構認定講習（申請中）

単位	日時	セッション	オンデマンド配信
産婦人科領域講習	6月6日（金） 10：00～11：00	教育セミナーⅠ 婦人科腫瘍の未来を拓く：臨床試験の最前線	○
産婦人科領域講習	6月6日（金） 11：10～12：10	スポンサードセミナー1 子宮体癌治療の過去、現在、未来、 それとともに考えていくべき様々な視点	
産婦人科領域講習	6月6日（金） 12：20～13：20	ランチョンセミナー1 子宮頸がん治療－手術から薬物療法まで－	
産婦人科領域講習	6月6日（金） 12：20～13：20	ランチョンセミナー2 進行再発子宮体がん薬物療法の新展開	
産婦人科領域講習	6月6日（金） 13：30～15：00	シンポジウムⅠ 臨床試験を立ち上げる： CQの立案から実現までの実践ガイド PART 1 CQの提案とプロトコルコンセプトの立案	○
産婦人科領域講習	6月6日（金） 13：30～15：00	シンポジウムⅢ 子宮体癌における妊孕性温存療法の最前線と未来展望	○
産婦人科領域講習	6月6日（金） 15：10～16：40	シンポジウムⅡ 臨床試験を立ち上げる：CQの立案から実現までの 実践ガイド Part2 試験を実際に走らせる	○
産婦人科領域講習	6月6日（金） 16：50～17：50	スポンサードセミナー2 臨床・統計の視点から見た卵巣がん薬物療法の エビデンス	
産婦人科領域講習	6月6日（金） 18：00～19：00	スポンサードセミナー3 進行卵巣がん初回治療攻略を再考する	
産婦人科領域講習	6月7日（土） 8：40～9：40	教育セミナーⅡ 婦人科がん治療の未来を創る： FIGO2023分類と重粒子線治療の臨床革新	○
産婦人科領域講習	6月7日（土） 9：50～10：50	スポンサードセミナー4 これからの子宮頸がん治療 ～限らない進歩へ：婦人科腫瘍医の役割とは～	

産婦人科領域講習	6月7日（土） 11：00～12：00	スポンサードセミナー5 子宮体がんに対する薬物療法2025 ～芒種の候、実臨床における論点と動向と～	
産婦人科領域講習	6月7日（土） 12：10～13：10	ランチョンセミナー3 これからの子宮頸がん治療戦略を考える	

〈現地参加の方〉

参加章に印字されたQRコードで登録をおこないます。

日本専門医機構の認定講習は、各講習会場で対象セッション開始前もしくは終了後に受付を開始します。開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、日本専門医機構単位は付与されませんのでご了承ください。また、原則途中退出は認められません。

〈Web参加の方〉

参加単位、日本専門医機構単位が必要な方は、オンライン参加登録、Web視聴の両方を必ずお済ませください。

日本専門医機構単位付与対象期間：6月13日（金）12：00～6月20日（金）12：00

※参加証明書はWeb視聴期間中にWeb視聴ページ内よりPDFダウンロードにて取得可能です。

期間終了後はダウンロード不可となりますので、必ず期間内にご自身でダウンロードしてください。

【産婦人科領域講習について】

対象セッションを最初から最後まで視聴していただくと、単位が付与されます。

6. 関連会議・行事

(1) 理事会

日 時：6月6日（金）8：45～9：15

会 場：3F「ダイヤモンド」

(2) 世話人会

日 時：6月6日（金）9：20～9：50

会 場：第2会場（3F「エメラルド」）

(3) 情報交換会

日 時：6月6日（金）19：00～21：00

会 場：第2会場（3F「エメラルド」）

7. その他

- 全てのプログラム内において、撮影・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止となります。ご協力いただきますようお願いいたします。
- Web視聴ページに掲載されている写真・スライド・映像・音声の著作権は、著作者、団体に帰属します。
- 本会議主催者は、Web視聴ページを利用することによって発生した直接的間接的もしくは波及効果による損害に対して一切責任を負わないものとします。
- 登場するすべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。Web視聴ページに掲載されている写真、スライド、映像、音声の録音、録画、キャプチャ、スクリーンショット等の行為は禁止します。